

# 1

## 北区を代表する 景観10選2019

みんなでつくる北区景観百選 2019 の中でも特に多くの人々から支持され、最も北区らしいと思われるものを厳選した10選を紹介しております。古くから愛される歴史的名所や多くの人々が集う区民の憩いの場、区外の人々にも知られたにぎわいの場など、まさに北区を代表する景観を集めた10選と言えるでしょう。

### ガイドブック（10選）の見方

①No. 名称：  
番号、景観資源の名称



北区景観百選  
(1998(平成10)年認定)

③地区名：  
景観資源が立地する地区

浮間地区 / 赤羽東地区 / 赤羽西地区 / 王子東地区 / 王子西地区 / 滝野川東地区 / 滝野川西地区

⑤景観資源の概要：  
景観資源の景観特性や歴史等の解説

⑥ Comment：  
景観資源に対する区民等のコメント・想いなど

⑦ Information

📍 アクセス 📍 所在地 📞 連絡先  
🕒 営業時間等 🎫 入場料等



②地図分布：  
MAP ページのプロット位置

④テーマ：  
7つの景観分類 (P12 参照)



魅力的な建物や地域のシンボルとなる景観



人々のふれあいやまちのにぎわいのある景観



歴史が感じられる景観



地域の人々に親しまれている並木などの景観



自然を肌で感じる景観



水辺や崖線の景観



魅力ある通りや鉄道の景観

⑧ Map  
景観資源の地図と掲載写真の位置  
(写真の右下の番号をプロット)

# 001 旧岩淵水門（赤水門）



赤羽東



①



②



③



④

旧岩淵水門（赤水門）は氾濫を繰り返した関東第二の大河である荒川の要として、大正13年に竣工しました。8年間に渡る建設では、関東大震災にも見舞われましたが、多くの人の力を合わせ、見事、完成しました。工事を監督した青山士（あおやまあきら）は、パナマ運河建設に携わった唯一の日本人であり、建設工事を開始する際は洪水を起こさない川の流れの研究も行いました。完成以来、荒川下流域に住む人々の暮らしが洪水から守られてきました。昭和30年代の改修工事で赤い色に塗られかえられたことから「赤水門」という愛称で地元の人々に親しまれているこの水門ですが、現在は役目を終え、下流にある青い岩淵水門が隅田川の洪水を防いでいます。また1999年、歴史的建造物として東京都より選定されています。

春には土手に咲く桜、秋には夜空に上がる花火とともに、北区を象徴する景観のひとつとなっています。

## Comment

昭和時代の貴重な遺構を未来の子どもたちに残したいこと、自然を生かした景観と環境のもとで、人々が楽しめる憩いの場としてふさわしいと感じました！（60代）

おじいちゃんと二人で旧岩淵水門を見に行った。水がきれいだった。おじいちゃんからいろいろなことを教えてもらった。また、おじいちゃんや家族と一緒にいきたいです。（10代）

赤羽周辺を歩いたとき、夕日と赤のコントラストがとてもきれいだった！（20代）

北区に44年住んでおり、見慣れた風景、北区らしい風景だと思います。（60代）

子供の頃の記憶のままで、心のふるさとです。（70代以上）

## Information

東京メトロ南北線赤羽岩淵駅より  
徒歩15分  
J R赤羽駅東口より徒歩20分

志茂 5-41 先

国土交通省荒川下流河川事務所  
地域連携課  
03-3902-2311（代表）



# 002 北区花火会



赤羽東



1



2



3



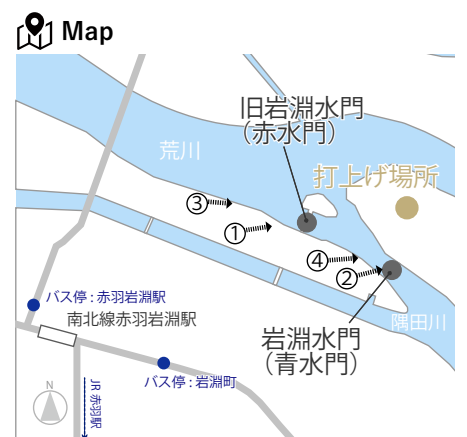
4

「北区花火会」は、北区を代表する民間団体が中心となり、地元の方々の協力の元、開催する秋の花火協働事業です。北区民ひとりひとりが力を合わせて盛り上げる手作りの催しのため、「花火大会」とせず、親しみを込めて「花火会」と名付けられています。子どもからお年寄りまでが、今まで以上に「地域への愛着」を感じ、荒川の地域資源を活用した新しい観光事業として「北区の地域振興」と「地域イメージアップ」、併せて地域の『絆』を深めることを目的としています。

秋祭りのフィナーレとして花火を打ち上げたことにはじまり、第5回からは花火の質を高め、北区の歴史や関連する人物、音楽とコラボレーションしたストーリー性のある花火会へと発展しています。特に「日本煙火芸術協会」所属の有名花火会社が自慢の花火を披露するステージは花火好きからも好評を得ています。また、秋開催の花火大会の先駆けでもあり、現在では赤水門越しに観る花火が北区花火会を象徴する景観となっています。

## Information

- 東京メトロ南北線赤羽岩淵駅より徒歩 15分  
J R赤羽駅東口より徒歩 20分
- 志茂 5-41 先
- 北区花火会実行委員会事務局  
03-6319-3973
- 毎年9月下旬から10月中旬



## Comment

- 景色がとても綺麗で思い出を作る場所として、とても良い場所です。実際に行ったことがあり、とても楽しかったので、また見に行きたいと思います。(10代)
- 花火はどこでも夏に開催されるが、北区では秋に開催され、涼しい中、ゆっくり見ることができて良い。(50代) 毎年楽しみにしています。区民一人ひとりが協力して行うところが、手作りの花火で魅力的に感じます。(10代)
- 家から花火を見ることができるため、毎年秋になると楽しみにしています！(30代)

# 003 赤羽桜並木と赤羽台さくら並木公園



赤羽西



赤羽駅西口から赤羽台トンネルを抜けると、区立八幡小学校付近から諏訪神社前の交差点にかけて、約 700 m の桜並木が続いています。この通りにある約 100 本の桜が満開になると、幅 20 m の道路をすっぽり覆う圧巻の桜のトンネルが、行き交う人々を魅了します。

通り沿いには、赤羽台さくら並木公園という崖線をうまく活用した、細長い公園があります。満開になると、周辺にお住まいの方々、病院等を利用する方々が花見に訪れ、とても賑わっています。また、北区には軍関係の施設が多かったことから、公園内に防空壕跡が今でも保存され、地域の歴史を体感することができます。

そして、桜が散り始めると、桜吹雪が舞い、道路は桜のカーペットが敷かれたかのようにピンク色になります。その頃には青葉も顔を出し始め、夏には新緑、そして秋には紅葉とそれぞれの季節で私たちに安らぎと潤いを与えてくれます。

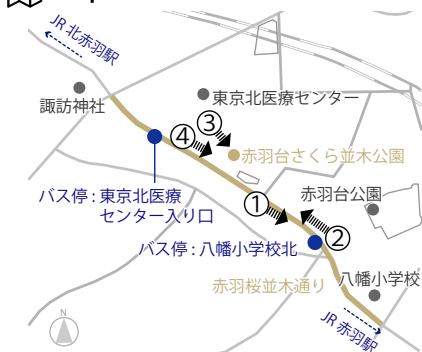
## Information

- J R 北赤羽駅より徒歩 4 分  
J R 赤羽駅より徒歩 8 分
  - 赤羽台 4-17, 赤羽北 3-3 ~ 赤羽台 3-18,19
  - 赤羽台さくら並木公園  
北区役所道路公園課 03-3908-9275
- 桜の見頃 毎年 3 月下旬から 4 月中旬頃

## Comment

- とにかく見事で北区で 1 番だと思います。夜桜は、幻想的で感動ものです。(50 代)
- 春は蕾がほころび花散るまで、夏は青葉、秋は紅葉、冬は枝に積もる雪景色と四季折々を楽しみながら、たくさんの人との出会いと思い出とともにある日々です。(40 代)
- 登下校で桜のトンネルを通るのが毎年楽しみです。(10 代)
- 毎朝夕目にする景色です。いつも変わらないようでも季節ごとに違う姿になり、日々発見もあります。変わらない場所と新しく変わっていく場所とが融合している赤羽の街に魅力を感じています。(40 代)

## Map



# 004 赤羽自然観察公園とふるさと農家体験館

MAP E-6

赤羽西



①



②



③



④

赤羽自然観察公園は元自衛隊十条駐屯地として使用されていた土地の一部に整備された公園です。当該地は谷状の地形を有し、湧水が存在しており、この湧水の保全・活用をするため、北区では、「自然とのふれあい」をテーマに公園づくりを行っています。もともと自衛隊用地として使用されていた経緯から、緑の多い空間ではありましたが、本来この地域に形成される植生の回復のため、在来種に馴染まない樹木は撤去し、この地域に本来生息する植物もしくは生息していた植物を植栽し、長期的に自然の回復を図っています。また、計画の段階から住民参加による公園づくりを進めており、現在も植生等の維持管理をボランティア団体と共に行っています。

北区ふるさと農家体験館は、北区有形文化財（建造物）に指定されている旧松澤家住宅を、移築・復元した体験学習施設です。旧松澤家住宅は、かつて浮間地区に所在し、江戸時代後期に建てられた建物です。現在では、区の歴史や文化を伝える貴重な文化遺産として親しまれています。

## Comment

よく遊びに行ったのでとても思い出のある公園。赤羽自然観察公園でよく魚や虫などもよく捕まえたりし、楽しい公園です。(10代)

自然が多く残されており、子供にとって動植物と触れ合える貴重な場所になっています。古民家も移築され、昔ながらの遊びや文化を伝えられる学びの場ともなっており、大切に保存し、区民のための憩いの場として利用されるような存続を望みます。(60代)

田んぼや昔の家などがあり、昔の温もりを感じます。小学校では田植えも体験しました。また、とても豊かな自然とも触れ合うことができます。(10代)

## Information

- JR 赤羽駅西口より徒歩 15 分  
国際興業バス赤羽自然観察公園バス停下車すぐ
- 赤羽西 5-2
- 北区役所道路公園課 03-3908-9275
- 4月～9月 午前8時から午後6時まで  
10月～3月 午前8時から午後4時半まで  
※入園は閉園時間の30分前まで

## Map



# 005 清水坂公園



赤羽西



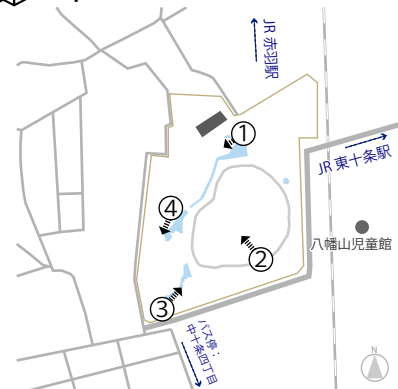
清水坂公園は、北区を南北に走る武蔵野台地の崖地を利用した立体的で変化に富んだ公園です。公園高台からの開放感あふれる眺めは、多くの方から人気を集めています。また、芝生広場は約 4,500 m<sup>2</sup>程の広さを誇り、子どもたちや親子連れで賑わっています。ローラー式の「すべり台」は、全長 52m あり、緑の中をすべりぬけていくダイナミックなすべり台です。山間の溪流をイメージした水遊び場とともに子どもたちから人気の高い遊び場となっています。

園内の景観は、鯉のぼりやあじさい、桜、梅など、季節の訪れを感じさせ、訪れた人を魅了します。また、自然に関するパネルや生物の目から見た北区の自然を映す映像が展示されている「自然ふれあい情報館」や小さな池や田んぼなどがある「自然園」では、楽しみながら自然環境への理解を深めることができます。

## Information

- J R 赤羽駅より徒歩 13 分  
J R 東十条駅より徒歩 14 分
- 十条仲原 4-2
- 北区役所道路公園課 03-3908-9275
- 自然ふれあい情報館  
午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分  
※毎週月曜日及び年末年始休館

## Map



## Comment

子供たちと一緒にのびのびと遊べる広い場所。緑豊かで起伏があって子供たちのエネルギーが生まれる素敵な場所です。(50代)

昔よく家族と遊びに行き、自然の景色がとてもきれい。その地の文化や歴史がわかる場所です。(10代)

広くて静かな良い公園です。特に天気の良い日は最高です。(50代)

行ったことがあって、緑がいっぱいだからです。行ってみたら広くて、きれいでした。(10歳未満)

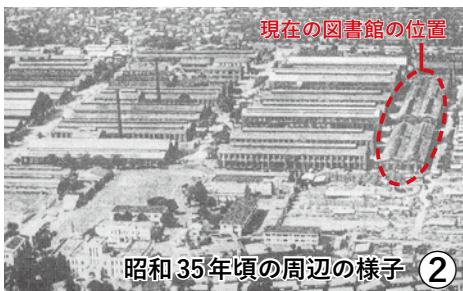
# 006 中央図書館

MAP  
J-8

王子西



1



現在の図書館の位置

昭和35年頃の周辺の様子 ②



3



4

中央図書館は、かつて、東京砲兵工廠があった場所に立地しています。敷地内に現存していた銃包製造所で使用されていたレンガ倉庫を保存活用し、平成20年に完成しました。愛称である「赤レンガ図書館」は公募により決定し、現在では多くの区民に親しまれています。平成25年には、北区の名誉区民で北区アンバサダーの日本文学研究者ドナルド・キーン氏のコレクションコーナーが開設し、キーン氏から寄贈された書籍や絵画の公開も行っています。

館内は段差がなく、通路をしっかりと確保し、だれでも利用しやすい高さの書架にするなど、バリアフリーにも対応することで、だれもが使いやすく、快適に過ごすことができます。また、内壁にも赤レンガを使用しているため、館内からもレンガ倉庫として使用されていた歴史を感じることができます。外観はレンガ造りの建物と打ち放しのコンクリートや壁面に多用されたガラス等が調和し、美しい景観をつくりだしています。景観への配慮のみならず、住宅地に立地することから、プライバシーにも配慮しており、敷地の高低差を活用することで建物の高さを抑えています。また、前面に広がる開けた芝生の公園では、近所のこどもたちの元気な姿が見られます。

## Information

- JR・東京メトロ南北線  
王子駅 徒歩15分  
JR十条駅南口 徒歩12分  
JR東十条駅南口 徒歩12分  
北区コミュニティバス中央図書館バス停  
下車すぐ
- 十条台 1-2-5
- 中央図書館 03-5993-1125
- 平日・土曜日  
午前9時から午後8時まで  
日曜日・祝日開館日  
午前9時から午後5時まで  
※第1・3・5月曜日は休館日

## Map



## Comment

- 赤レンガを一部利用した建物で、趣があって貴重だと思います。(40代)
- 中央図書館の四季を楽しめるベンチは私のいこいの場所です。(40代)
- 本を借りた後にオシャレなカフェでおいしいケーキを食べるのがとても楽しみな図書館です。(10代)

# 007 音無橋と親水公園



王子西



①



②



③



④

昭和5年の架橋以来この地域の交通の要として、多くの区民に親しまれてきた音無橋は、3つのアーチ型の橋脚と、優雅な曲線美を誇る欄干が印象的な景観をつくりだしています。“日本の都市公園100選”に選ばれている音無親水公園は、小平市の東部を源にして隅田川に注ぐ石神井川の旧流路に整備された公園です。石神井川は、北区付近では“音無川”と呼ばれ親しまれ、古くからの春の桜・夏の青楓と滝あび・秋の紅葉など四季の行楽の名所、景勝の地でした。しかしながら、戦後の経済の復興・発展とともに石神井川も生活排水などで汚れた川となり、洪水による被害を防ぐ目的で、昭和30年代から始まった改修工事によって緑の岸辺は厚いコンクリートの下へと消え、典型的な都市河川となりました。昭和58年に完成した改修工事で、飛鳥山公園の下に2本のトンネルを掘り、石神井川流路の直線化が行われ、残された旧流路に、「かつての溪流を取り戻したい」として音無親水公園ができました。公園内には、純和風の木橋「舟串橋」をはじめ、水車、東屋、行灯などが配されています。

## Information

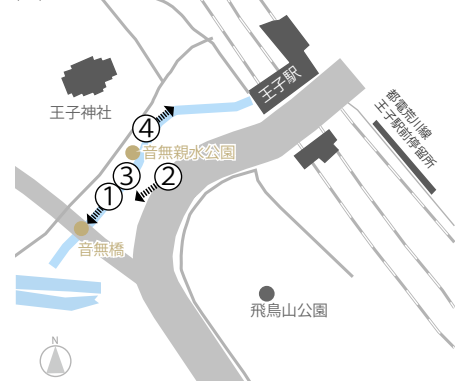
JR・東京メトロ南北線王子駅徒歩1分  
都電荒川線王子駅前停留所徒歩2分

王子本町1-1先

北区役所道路公園課 03-3908-9275

終日開放  
※親水施設区域は  
午前9時から午後4時まで

## Map



## Comment

爽やかな緑とせせらぎ、石畳に癒やされます。駅前とは思えないこの貴重なスポットには、北区にとってかけがえのない場所だと思います。(30代)

音無親水公園は四季折々に水と樹木的美しさを楽しめる区民の憩いの場です。(70代以上)

涼しげで落ち着いた雰囲気が好きです。春は花見ができ、散歩をするのにも最適な公園なのでよく利用しています。(20代)

北区と行ったらここでしょう！という所は沢山ありますが、やはり自然を感じられるところがいいです。(60代)



# 008 飛鳥山公園の風景と飛鳥の小径



滝野川西



江戸時代から庶民に花見の名所として親しまれてきた飛鳥山公園は、北区を代表する公園として、区内外から多くの人々が訪れます。享保5～6年（1720年～1721年）に徳川八代将軍吉宗が1,270本もの苗木を植えたことにはじまり、現在では桜の名所として知られ、ソメイヨシノやサトザクラなど約600本の桜が3月下旬から4月上旬に見ごろとなります。また、明治6年（1873年）には我が国最初の都市公園に指定されています。

平成21年には、公園内をゆっくりと動く、自走式モノレール方式の斜行昇降施設「あすかパークレール」が整備されました。現在では、「アスカルゴ」と呼ばれ、区民に親しまれており、高齢者や障害者、ベビーカー利用者でも気軽に飛鳥山に登ることができます。

桜のみならず、約10種類、1,300株ほどのアジサイが飛鳥山の山裾に沿って咲き乱れる「飛鳥の小径」など、季節を彩る花々が訪れる人を魅了し、一年を通じて楽しむことができる公園です。

## Information

- JR王子駅より徒歩1分  
東京メトロ南北線王子駅より徒歩3分  
都電荒川線飛鳥山停留所より徒歩1分
- 王子 1-1
- 北区役所道路公園課 03-3908-9275

## Map



## Comment

- 4月になると、桜がとても綺麗でアスカルゴから見る景色がとても素敵です！（10代）  
よく飛鳥山公園で水遊びをしたり公園で遊んでいたからです。おすすめはシンボルのおしるのすべり台です。すごい高い所からすべるのでとてもスリルがあります。（10代）  
北区と言えば飛鳥山公園。さくら、つつじ、あじさいと花に包まれた公園です。江戸時代から庶民のお花見の地。大事にしたい景観です。（70歳以上）  
引っ越してきて初めて飛鳥山に行ったときこんなに大きな公園があるなんてとびっくりしました。（40代）

# 009 まちを走る都電



滝野川西



①



②



③



④ 昭和37年頃の都電

北区を走る都電荒川線は、王子電気軌道が明治44年(1911年)に大塚～飛鳥山上(現在の飛鳥山停留場)間2.3kmを開業させたのが始まりです。その後、順次延長され、昭和49年(1974年)に三ノ輪橋～早稲田間12.2kmの現在の荒川線となりました。当時、都電の大半は廃止されていましたが、道路上をほとんど走らない荒川線は例外的に存続され、東急世田谷線とともに都内では貴重な路面電車として走っています。沿線には多くの桜が咲き乱れる飛鳥山公園があることから、「東京さくらトラム」としても親しまれています。

区内では、「梶原・柴町・王子駅前・飛鳥山・滝野川一丁目・西ヶ原四丁目」の計6か所に停留所があり、通勤や通学、観光など様々な目的で利用されています。また、営業用や装飾電車などの様々な車種があり、それらが走る姿はまちの景観を彩るとともに、我々のまち歩きを楽しませてくれます。

## Information

- 堀船 3-31 ~ 西ヶ原 4-65
- 東京都交通局荒川電車営業所  
03-3893-7451

## Comment

- 路面電車が走る風景は情緒があり、古きよき時代を思い出すとともに新たな時代との融合が計れていると思います。(50代)
- 軌道内が昔の景色のままで良い。(40代)
- 何度も乗ったことがあっても感動しました。理由は特殊な形をしているのにもかかわらず、今に伝わっているからです。歴史のある都電を子孫に残してあげたいと思いこれにのせました!!(10代)
- 道路を走る電車、車と一緒に走る電車がめずらしいし、かっこいいからです。(10代)



# 010 旧古河庭園



滝野川西



①



②



③



④

総面積約3万㎡を誇る旧古河庭園は、武蔵野台地の傾斜地を巧みに利用した、大正初期を代表する庭園です。日本近代建築の父と呼ばれる英国人建築家ジョサイア・コンドルによって設計された洋館と洋風庭園は、コンドルの最晩年の作品であり、大正6年(1917年)に竣工され、古河財閥の古河虎之助男爵の邸宅として現在の形(洋館、洋風庭園、日本庭園)に整えられました。洋風庭園は、現在、バラの名所として親しまれており、毎年5月中旬～6月、10月中旬～11月には、咲き乱れるバラを楽しむために多くの来訪者で賑わいます。

近代日本庭園の先駆者とされる作庭家小川治兵衛によって作庭された日本庭園は、心字池を中心に枯滝・大滝・中島を配し、茶室、渓谷の滝など見所が多く、数少ない大正初期の庭園の原型を留める貴重な存在です。伝統的な手法と近代的な技術の融和により、和洋の見事な調和を実現している秀逸で代表的な事例であり、極めて良好に保存されている数少ない重要な事例であるとして、平成18年に国の名勝指定を受けています。また、4月中旬～5月中旬のつつじ、11月下旬～12月上旬の紅葉も特に見応えがあり、遠方からも多くの人々が訪れます。

## Comment

彼氏とよく旧古河庭園にデートに行っていました。結婚し、彼氏は夫になり、子どもも生まれ、今では、家族4人で散歩に訪れています。(30代)

英国人建築家J・コンドルによる歴史的建造物の一つであり、明治から昭和にかけて、日本の礎を築いてきた人々の息吹が感じられる。和洋合いった回遊式庭園は憩いのひとときを与えてくれ、数年前聴いたフィドルとギターによるケルト音楽は今でも耳に響いております。(50代)

5月には旧古河庭園のバラを楽しみにしています。1年中、四季折々の風景を楽しむことができます。(60代)

## Information

- JR上中里駅より徒歩7分  
JR駒込駅北口より徒歩12分  
東京メトロ南北線西ヶ原駅より徒歩7分  
北区コミュニティバス旧古河庭園バス停  
下車すぐ
- 西ヶ原 1-27-39
- 旧古河庭園サービスセンター  
03-3910-0394
- 午前9時～午後5時 ※年末年始は休園  
(入園は午後4時30分まで)
- 入園料150円(65歳以上は70円)

## Map



# 7つの景観分類について

それぞれの景観が持つ特徴に着目することで、景観に対する理解が深まり、より景観を楽しむことができます。

「みんなでつくる北区景観百選2019」は、それぞれの特徴を、7つの景観に分類しています。

- ① 魅力的な建物や地域のシンボルとなる景観
- ② 人々のふれあいやまちのにぎわいのある景観
- ③ 歴史が感じられる景観
- ④ 地域の人々に親しまれている並木などの景観
- ⑤ 自然を肌で感じる景観
- ⑥ 水辺や崖線の景観
- ⑦ 魅力ある通りや鉄道の景観



## 魅力的な建物や地域のシンボルとなる景観

優れた建物やモニュメントは、地域を特徴づける要素になります。新しいものは、そのかわいに未来へ向かって伸びてゆくエネルギーを与え、歴史あるものは、かわいに伝統ある格式をもたらします。



## 人々のふれあいやまちのにぎわいのある景観

買い物客が訪れる商店街、子どもたちが元気に遊ぶ公園、たくさんの人が集うまつりなどは、まちに活気を与えてくれます。その活気は、かわいの特色となり、人々の連帯感やコミュニティの形成に大きな役割を果たします。



## 歴史が感じられる景観

多くの遺跡がある北区は、古くから歴史を積み重ねてきました。その年月の中で、人々の思いに磨かれた地域の景観は、さらなる輝きを見せはじめ、訪れる人を一瞬のうちに時間旅行へと誘います。



## 地域の人々に親しまれている並木などの景観

四季折々に多様な表情を見せる桜並木、木々がうっそうと繁り独特の雰囲気をかもし出す小路、人々の笑い声など、にぎわいが絶えない通り…人々が行き交う生活道路にも、親しまれている風景が数多くあります。



## 自然を肌で感じる景観

緑は人々にうるおいを与えてくれる欠かせない資源です。緑が少ない北区にとって、自然を感じさせてくれる公園や緑地は、たいへん貴重な場所であり、人々が気持ちよく遊び、くつろげる空間になっています。



## 水辺や崖線の景観

北区を流れる4つの河川は、それぞれに特色があり、独自の風景が広がっています。また、これらの河川は、台地と低地の境を走る崖線とともに、北区をふちどる重要な景観要素になっています。



## 魅力ある通りや鉄道の景観

鉄道や幹線道路は、景観づくりを進める上で、北区全体のまちなみを結ぶ骨組みとしての重要な役割を担っています。交通手段としての機能ばかりでなく、その沿線・沿道には、快適な景観が求められています。

